

# 第42回2023トリミング競技大会

全国のトリマー230名が挑んだ「第42回2023トリミング競技大会」がロイヤルカナン・カップ2023、JKCサクラ・アニュアル・ショー2023の会場にて、2日間にわたり開催されました。



理事長賞受賞者には、特別協賛：ロイヤルカナン ジャポン合同会社、協賛：株式会社アイレックス、株式会社PLUSH PUPPY JAPAN GROOMING PRODUCTS、有限会社ファースト インターナショナル アソシエイツ、株式会社 アンドーより、副賞が贈られました。



「第42回2023トリミング競技大会」が3月31日(金)・4月1日(土)の2日間にわたって開催されました。

初日は全国のプロック予選を勝ち抜いてきた116名のトリマーによる「ブロックの部」、2日目は公認トリマー養成機関代表114名による「養成機関の部」の競技が行われました。

出場者には、自ら用意した2カ月以上カットをしていないモデル犬を2時間以内で仕上げる高度な技術力が要求されます。多くの観衆が見守る中、緊迫感を包まれつつ、皆精一杯持てる力を発揮しました。

## 理事長賞

養成機関の部

ブロックの部



成見舞冬 (ロイヤルグルーミング学院)

総評 | 審査員長：島本彩恵

大会にコロナ禍前の活気が戻って来ました!! 韓国からも第一人者のMIN-WOO SEOL氏が来て下さり大会に華を持たせてくれました。今年は協力校の出場者も多く、レベルも高くなって驚きました。ここにエントリーされた方はどの方も学校を代表する方ですのでスキルが高いのは当然です。

トリミングしたモデル犬のラストルックをより美しく見せる為にはテーブル上で美しくタッキングして作業を進めながら審査員にアピールする事が大切です。日常的にピフォーアフターまでの画像を撮り練習するのも必須でしょうか。

各クラス養成機関A組、B-1組、B-2組、C-1組、C-2組、E組の最優秀技術賞になった6名の中から決定したのですが、A組のペリントン・テリアの方はモデル犬のお腹の下に手を当て、上に押し上げてこの犬種の特徴である背線を作ってアピールしていました。ピフォーアフターの差が非常にあり、バランス取りが難しいこのタイプのペリントン・テリアを犬種標準に近く見せた上、美しいシザーリング面を作ったA組の方に理事長賞を決定させて頂きました。

### 成見さんのコメント

本大会への出場は初めてとても緊張しましたが、「自信を持ってカットしたらいいよ」と言ってくれたので気持ち少し楽になり、「楽しんで切る!」という1番の目標を達成することができました。

理事長賞を受賞できた事は未だに信じられないのですが、愛犬の鈴蘭くん、ご指導して頂いた先生方、ご協力して下さった周りの方に感謝しています。最高の形で恩返しできて良かったです。

今後はスタンダードをより深く学び、多くの犬種を理解できるように頑張っていきたいです。



上田晶子 (四国ブロック)

総評 | 審査員長：川田恵子

今年はコロナ前の出場者にせまる総勢242名のエントリー、そのうちブロックのエントリーは119名でした。

ブロックの部は、スイニング、ブラッキング犬種と部門を分ける事によりドッグショーに携わる方達の出場者が年々増えてきているように思われます。それにより、新しい斬新な技法を目にする事も出てきました。いろいろな技法のトリミングの競技者が増える事により、競い合い、より質が高くなる事は良いことだと思います。日本においてはシザーリング部門が一番出場者が多いのですが年々各クラス突出した競技者が少なくなかなか入賞者を決定する事が出来ない様な場面が見受けられます。

上のクラスにおいてはそれぞれの担当審査員は決定するのに時間を要したようです。上位入賞者を含め、理事長賞はモデル犬の選択、状態の維持、2時間の作業工程、作業内容を加味した上で最終的な仕上がりを含め決定致しました。

### 上田さんのコメント

今回このような大きな賞を受賞できたこと、とても嬉しく思っております。

受賞できたのは恩師の方々、周りの方々の応援とこれまでのモデル犬達の支えがあったからです。先生方からは基本を大切に自分だけの表現をする事やトリマーとしてどうあるべきかなど、優しく時に厳しく教えて頂いています。

競技中は時間配分と特にセットの曲がりを気に掛け、落ち着いてカットをする事ができました。

まだまだこれからも精進してまいりますのでご指導よろしくお願い致します。



## 優秀養成機関賞



ナンバペット美容学院 (左)

つくば国際ペット専門学校 (右)



## 養成機関の部

### A組



**最優秀技術賞：**成見舞冬(ロイヤルグルーミング学院)  
**優秀技術賞：**上木 玲(愛犬美容看護専門学校)  
 古閑彩芽(九州サンシャインドッググルーミングスクール)

**技術賞：**有家 仁(ナンバペット美容学院)  
 小高瑠輝(SJDドッググルーミングスクール)  
 野崎しずく(大分ドッググルーミング専門学校)  
 坂巻朱梨(スカイ総合ペット専門学校)

短評 | 審査員・島本彩恵

大会当日は快晴で湿度もなく出場者の皆様、コートコンディション良く臨めると思いつながり会場に向かいました。特に近県の方は勿論、遠征組にはラッキーです。

A組はビション・フリーゼ、ミニチュア・シュナウザー、トイ・プードル、ミニチュア・プードル、アメリカン・コッカー・スパニエル、ペトリントン・テリアのモデル犬達の参加でした。競技が進行しているものの最優秀技術賞候補の決定打がなかなか表れてきません。

ペトリントン・テリアという犬種はシザーリング犬種の中でも一番と言って良いかと思う位コートの伸びが遅いと思いますが、この最優秀技術賞候補の筆頭

だったこのモデル犬のビフォーは今まで遭遇した事ない位、長く伸ばして参加されていて、モデル犬チェックの時に「伸ばしましたね!」とお声がけしたのを覚えています。

それゆえ長い首と深い胸を持っているこのモデル犬のバランス作りと長いコートのトリミングに手こずっている様に思われましたが、ラスト30分弱で顔のシメトリーを取り、この犬種の特徴の背線から美しい作品を作られたので決定しました。やはりビフォーでしっかり2か月以上伸ばしたコートを美しく作り上げた方は強いです。

### B-1組



**最優秀技術賞：**井元涼葉(ナンバペット美容学院)  
**優秀技術賞：**伊藤智虹(愛犬美容看護専門学校)  
 藤川理都(東京愛犬専門学校)

**技術賞：**加藤琉花(スカイ総合ペット専門学校)  
 岸本日花里(SJDドッググルーミングスクール)  
 中村優太(九州サンシャインドッググルーミングスクール)  
 米園瀬里(大分ドッググルーミング専門学校)  
 仙道雅美(SJDドッググルーミングスクール)

短評 | 審査員・Minwoo Seol

B-1組の審査、18人中8人の優秀な学生達を選抜しました。特に最優秀技術賞と優秀技術賞は安定して熟練される美容技術を見せ、特に犬体を良く理解し、解釈する能力が長けていました。

これを裏付けるシザーリングの技術と犬の扱いの能力と共に非常に安定していました。全体的に優秀な学校で体系的な教育と訓練を通じて安定した実力のあるクラスの競争でした。

### B-2組



**最優秀技術賞：**長谷川いづみ(ナンバペット美容学院)  
**優秀技術賞：**勝連 舞(東京愛犬専門学校)  
 小田祥子(SJDドッググルーミングスクール)

**技術賞：**赤嶺舞美(SJDドッググルーミングスクール)  
 石川瑠菜(静岡グルーミングスクール)  
 高橋乙心(東京愛犬専門学校)  
 高岡双華(九州サンシャインドッググルーミングスクール)  
 新庄勇雅(四国サンシャインドッググルーミングスクール)

短評 | 審査員・岩堀理恵

このクラスの出場者の方は、モデル犬の扱いが良く好印象を持ちました。その中でも最優秀技術賞の方はモデル犬の特徴を上手に表現したスタイリングに仕上げる事が出来ていました。

他の方も、安定したシザーリングでラインを作る事が出来ている方を上位入賞に選出致しました。

# 養成機関の部

## C-1組



**最優秀技術賞：**佐々木麻衣 (つくば国際ペット専門学校)  
**優秀技術賞：**吉田奈央 (つくば国際ペット専門学校)  
 東條志穂 (九州サンシャインドッググルーミングスクール)

**技術賞：**有賀ののか (SJDドッググルーミングスクール)  
 山下はるな (四国サンシャインドッググルーミングスクール)  
 矢野愛莉 (ロイヤルグルーミング学院)  
 佐々野夏綺 (ナンバペット美容学院)  
 山田千夏 (アートグルーミングスクール)

### 短評 | 審査員・糸井欽司

C-1組全体で感じた事はスタンダードを理解した上でのプードルのバランスではなく、目で見て形を覚えたバランスになっている方が多かったですが、ベーシックの基本が良くできていて仕上げがまとまっていた。  
 優秀技術賞と技術賞の入賞者の共通点はプードルらしいモデル犬の体型に合ったバランスがとれていました。  
 気になった事として、立毛し、シザーを入れた後、被毛に沈んだ切りカスが

残らない様、再びコームをしっかりと入れてもらう事です。  
 最優秀技術賞のアメリカン・コッカー・スピニエルの方は、トップライン、サイドのイマジナリーラインのスイニングがとても上手で毛流が美しく見え、毛流を整えるスリッカーの使い方が丁寧でモデル犬への愛情が感じられ、トリマーとして好感を持ち、楽しく見ることができた1人でした。

## C-2組



**最優秀技術賞：**森田瑠華 (ナンバペット美容学院)  
**優秀技術賞：**野中慧史 (愛犬美容看護専門学校)  
 山下もも (静岡グルーミングスクール)

**技術賞：**岩淵 蘭 (アートグルーミングスクール)  
 石川美月 (東京愛犬専門学校)  
 川村紗弓 (ロイヤルグルーミング学院)  
 湯浅麻綺 (K-9グルーミングスクール)  
 松田由香梨 (千葉グルーミングスクール)

### 短評 | 審査員・神宮和晃

養成機関のC組ということで審査におきましてはスタイルやバランスはもちろんのこと、基本作業に重点をおいて見させていただきました。  
 道具の扱いではコーミング、シザーリング、クリッピングの1つ1つの動きが効果的で意味のある仕事ができているか、犬の扱いでは負担を最小限に抑えつつ、スタックを正しく保ちながら作業できているか、トリマー自身は犬のスタイルやバランスを確認しつつ、最適な位置に自分の体を定め、作業部位と適度な距離を保ちながら姿勢良く作業することができているかなどです。  
 現実にはベテランでも難しいことですが、だからこそ初心者のうちからしっかり

りと留意すべき心掛けだと思います。約3名がレベルの高い基本作業をさせていただきましたが、全体的にはこれらの点への関心が低いように感じ取れました。最優秀技術賞に選ばれた方は、この基本作業の点においてC組のレベルを超越されていたと思います。

終始に渡りトリマーは姿勢を崩さず、シザーリングも粗切りの大きな開閉から仕上げに向けた繊細な開閉まで強弱があり、感心致しました。トップラインなどアウトラインに課題はありますが、今後の成長に期待しておりますので、頑張ってくださいと思います。

## E組



**最優秀技術賞：**高畑智奈美 (広島アニマルケア専門学校)  
**優秀技術賞：**生井 岬 (国際ペット総合専門学校)  
 渡邊そら (専門学校福岡ビジョナリーアーツ)

**技術賞：**長嶋優衣 (宇都宮愛犬美容学園)  
 橋本涼花 (国際ペット総合専門学校)  
 福本唯愛 (河原アイペットワールド専門学校)  
 甲斐后尋 (宮崎ペットワールド専門学校)

遠藤夏海 (専門学校ビジョナリーアーツ)  
 三宅志織 (専門学校穴吹動物看護力レッジ)  
 木村真菜 (宇都宮愛犬美容学園)

### 短評 | 審査員・中野勝美

このクラスは32名のエントリーでした。作業前のモデル犬状態は各学校で良く指導されているようでベISING、プロウドライングが良かったです。道具の使い方、特にシザーリング、クリッピングも良い方が多かったです。  
 出場者のモデル犬、毛質毛量などの違いがありますが、そのモデル犬に合わせ

た仕上げが大事だと思います。今後の課題として工夫していただき、より一層美しく型崩れしないトリミングを目指していただきたいです。  
 最優秀技術賞に選んだ方は頭部、ボディ、四肢をバランス良く作り上げ、基本的な作業もしっかりとさせていたので選出しました。

## ブロックの部 (A組～D組)

### A組



| 短評 | 審査員・川田恵子

ブロックの部A組を担当致しました。A組欠席者1名、28名の競技者でした。内6名のモデル犬がビション・フリーゼでした。A組なのでさすがにモデル犬の作業前の状態、プロウドラインは良好でシザー使いも問題はないものの立毛時のコーム使いが強い方が数名見受けられました。また、ラストカットから2か月経過したモデル犬を2時間で仕上げる為には、どのような手順でやると失敗をせず効率

よく進められるか適切でない方もいましたが、理にかなったものにする事によりスムーズな作業内容で余裕のある仕上げになると思います。

最優秀技術賞を受賞なさった方には、淡々と肅々と作業を進める方で作業内容も良好で犬の扱い、道具使いも丁寧に丁寧で確実なカッティング技術でバランスを崩すことなく仕上げていました。

最優秀技術賞：上田晶子 (四国ブロック)  
 優秀技術賞：大崎恵美 (神奈川ブロック)  
 高木麻衣 (中国ブロック)  
 技術賞：伊牟田愛夢 (大阪ブロック)  
 野間美咲 (四国ブロック)  
 今村京子 (四国ブロック)  
 小若未菜実 (中国ブロック)  
 長谷 歩 (大阪ブロック)  
 戸田聡志 (四国ブロック)  
 工藤弓希代 (東北ブロック)

### B組



| 短評 | 審査員・内山しのぶ

このクラスは入賞すればA級ライセンスを取得出来るのでそれに相応しい技術を持っている方を選びました。

最優秀技術賞の方は作業工程がスムーズで完成度も高く、全体をバランス良くまとめていました。

パピー・クリップIIで出場された8名の方は、パーティングライン、タックアップの表現が曖昧な方が多く、もっと明確にすることでメリハリのきいた締まったシルエットになると思います。

今後は更なるスキルアップを頑張ってください。

最優秀技術賞：尾 華未 (中国ブロック)  
 優秀技術賞：森 香 (北関東ブロック)  
 村井愉花 (中国ブロック)  
 技術賞：井出友美 (中部ブロック)  
 木澤麻友 (北陸甲信越ブロック)  
 久保 隆 (九州ブロック)  
 中園仁美 (中部ブロック)  
 黒田玲奈 (大阪ブロック)  
 関 そよ香 (埼玉ブロック)  
 亀崎麻弥 (千葉ブロック)

### C組



| 短評 | 審査員・Minwoo Seol

本日の審査はC組でした。よって、犬の扱い、道具の使い方、それからシザーリングなどトリマーが備えなければならない犬体の理解力など、基本を中心に審査をしました。

多くの方はこれらのことに忠実でしたが、特に最優秀技術賞の方は素晴らしい

方でした。

日本の明るい愛犬美容の未来をみました。これからももっと努力してプロとして一歩ずつ歩いてください。みなさん本日はお疲れ様でした。

最優秀技術賞：岡本優穂 (神奈川ブロック)  
 優秀技術賞：石飛里奈 (中国ブロック)  
 原田ちはる (千葉ブロック)  
 技術賞：片浦沙紀 (中部ブロック)  
 井上恵莉菜 (中国ブロック)  
 古川恵実 (九州ブロック)  
 松井瑞恵 (大阪ブロック)  
 中村風香 (東北ブロック)  
 湯浅翔平 (千葉ブロック)  
 後藤大樹 (埼玉ブロック)

### D組



| 短評 | 審査員・中野勝美

このクラスは11名のエントリーでした。作業内容でペイシング、コーミング、クリッピング、シザーリングなどで良い方と悪い方の差がはっきりとしていました。当然仕上がりにしても差がありました。

その中で最優秀技術賞に選んだ方は作業前の状態も良く全体のバランスをよく

理解し、正確に作り上げていました。

今後の課題として基本的な各作業をしっかり学習していただき、レベルアップすることを期待しております。

最優秀技術賞：加藤由佳 (北陸甲信越ブロック)  
 優秀技術賞：北河 愛 (中部ブロック)  
 浦川依理 (九州ブロック)  
 技術賞：半村晴香 (北関東ブロック)  
 中川亜希子 (千葉ブロック)  
 黒田侑加 (東京ブロック)  
 村田恵梨奈 (大阪ブロック)

# ブロックの部 (スイニング・ブラッキング犬種A組～D組)

スイニング・  
ブラッキング犬種  
A組



| 短評 | 審査員・菅原輝義

最優秀技術賞：神宮有里子(北関東ブロック)  
優秀技術賞：高橋邦明(埼玉ブロック)  
技術賞：村田浩樹(大阪ブロック)  
桜井俊孝(埼玉ブロック)  
櫻井陽道(千葉ブロック)

コートを手順良く、丁寧にコートワークしていました。ナイフの技法も良く、モデル犬に対しての負担も少ない作業技術で美しくバランスの整ったコートを作り上げていました。

仕上げも良く、基本作業の技術もしっかりしていて全体がバランス良く整っていました。

スイニング・  
ブラッキング犬種  
B組



| 短評 | 審査員・菅原輝義

最優秀技術賞：永井 滯(東北ブロック)  
優秀技術賞：宮谷内小百合(北陸甲信越ブロック)  
小田彩媛(中国ブロック)  
技術賞：星 洋輔(東京ブロック)

良いクリッパーワークの作業でスイニングシザーも良く、コートを美しく流れる様に仕上げられ、頭部、ネックライン、フロント、トップライン、前・後肢のアンギュレーション、アンダーラインでも犬種を良く表現されていました。

スイニング・  
ブラッキング犬種  
C組



最優秀技術賞：森谷大輝(中部ブロック)

優秀技術賞：木船康司(神奈川ブロック)

| 短評 | 審査員・菅原輝義

ブラッキングナイフの技法が良く、コートを手順良く作業され、犬種の求められる良いコートコンディションを作り上げていました。

頭部表現においても良く作業されボディーとバランスの良いトリムでした。

スイニング・  
ブラッキング犬種  
D組



最優秀技術賞：安藤孝枝(東京ブロック)

技術賞：津田奈緒子(大阪ブロック)

| 短評 | 審査員・菅原輝義

ブラッキングナイフの作業がすばらしく、フラットワーク、ネックライン、フェイスライン及び腰から臀部と後肢のバックラインも美しく、良くブレンディングされ、ボディーのコートも犬種の持ち得るコートコンディションを良く表現されていました。